

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 起立性調節障害児の臨床的特徴』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 小児科 職位・氏名 臨床教授 渡邊 美砂

【試料・情報の利用目的】

起立性調節障害(OD)の患者さんは増加してきています。当科でも 2017 年より新起立試験を導入し、OD を 4 つのサブタイプ(起立直後性低血圧、体位性頻脈症候群、神経調節性失神、遷延性起立性低血圧)に分類して治療や指導を行ってきました。しかし、女子に多く、起立直後性低血圧が多いというかつての一般的な見解と異なり、当科で経験している症例は男児に多く、体位性頻脈症候群が多い印象がありました。

また、2020 年から流行した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)では、罹患後の後遺症として、体位性頻脈症候群の発症との関連が報告されています。COVID-19 では、感染対策に伴う外出自粛などの行動制限、マスクの着用やソーシャルディスタンスによる対人交流の減少などの新しい生活様式が子どものメンタルヘルスや、OD の発症・増悪に与えた影響は、計り知れないともいわれています。

そこで、当院で新起立試験を行った患者さんの臨床的特徴を明らかにすることを目的とした研究を計画しました。この研究で得られる成果は、起立性調節障害の患者さんの治療方針や管理の向上につながる可能性があります。

【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

【研究に用いられる試料・情報】

情報:病歴、診療の治療歴、新起立試験の結果、採血検査や尿検査の結果、治療に使用した薬剤や経過等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2025 年 1 月より利用を開始します。

【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

外部への試料・情報の提供は行いません。

【試料・情報の取得方法】

研究期間:2025 年 1 月 10 日～ 2027 年 11 月 30 日

対象者:2017 年 1 月～2026 年 11 月までに東邦大学医療センター大橋病院

小児科において、新起立試験を行った 6 歳～15 歳の患者さん

(検査終了後 6 か月～1年間の観察期間を設けるため、2026 年 11 月までに検査を終了した

患者さんを対象といたします)

対象数:約 300 名

方 法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究組織】

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:渡邊 美砂 役職:臨床教授

【利用する者の範囲】

東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:渡邊 美砂

【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】

東邦大学医療センター大橋病院 西原 明子

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない患者さんは、2025 年 2 月 28 日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった患者さんの情報は、利用いたしません。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。また、代諾者からの参加拒否の申し出にも対応いたします

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 小児科

職位・氏名 臨床教授 渡邊 美砂

電話 03-3468-1251 内線 2010